

県南広域局管内には豊かな森や水資源があり、その中で環境保全に取り組む団体や企業がたくさんあります。それぞれ素晴らしい取組をされていますが、垣根を越えた連携、情報交換はこれまであまりなかったように思います。今年度から始める「環境かわら版」では、企業や環境団体、行政が取り組んでいる活動の情報発信をすることで、それぞれが環境で「つながる」きっかけとなることを目指しています。

## ■環境活動に取り組む地域の企業ご紹介

### ・トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場「みんなの森づくり」

「緑豊かな岩手の環境との共生」を目指し、自然エネルギーの活用や森づくり等による生態系保護を推進しています。「森から車が生まれる」のイメージのもと、今年もどんぐりから育てた苗を、地域住民や小学生と一緒に工場内に植樹しました。

苗づくりはもちろん、植樹場所の整地など、全て従業員が手作業で行っています。



従業員どんぐり拾い



芽吹いた苗の植替え



第6回植樹会

## ■環境活動団体のご紹介

### ・古代の流れ源流「網代滝」を守る会（奥州市水沢区黒石町）

小黒石自然体験交流館（通称こぐりん）を里山の自然体験の基地にして、子どもたちを中心に多様な世代へ森林、自然、農業体験の機会を提供し、森林が持つ力、魅力について紹介しています。自然体験を軸とした他地域の人達との交流は地域活性化にも一役買っています。また、「網代滝」を守る会は、みずさわエコキッズ活動（奥州市の事業で、奥州市水沢区の子どもたちによる環境保全活動）のサポートも行っています。

※網代滝：水源の滝、落差7mの網代滝では、散策路整備、手すり設置など行い、滝登り体験ができる。マイナススイオンたっぷり。イワナやサンショウウオも棲んでいる。

※大久保川：網代滝を水源とする大久保川（桜橋付近）ではカジカが跳ね、サワガニなどきれいな水に棲む生き物がたくさんいる。親子で水生生物観察、水質検査が体験できる。



網代滝の沢登り体験

大久保川での水生生物調査

みずさわエコキッズ農業体験

☆古代の流れ源流「網代滝」を守る会では、草刈りやイベント時のサポーターなどを募集しています。また、現地案内は予約で対応可能です。

連絡先：電話・FAX 0197-26-3581（千田事務局長）

・生母生産森林組合（奥州市前沢区生母 組合員数 534名）

世界遺産平泉に隣接する前沢区生母で中山間地の森林・林業・歴史等ハード、ソフトの両面から活動を展開しています。今回はその中から活動の一部を紹介。

「イロハモミジの森づくり」：平成19年から赤生津(アコウツ)・母体(モタイ)小学校と連携し、卒業記念植樹としてイロハモミジの森づくりを行ってきました。学校統合による両校の閉校に伴い、平成25年度で卒業記念植樹は終了しましたが、この取り組みをいわて生協が引き継ぎ、今後も森づくりを継続していくことになりました。

「月山松を守る活動」(69本)：座禅石、月山神社奥の院まわりのアカ松群は「月山松」と呼ばれ最古樹齢は400年、直径119cm、高さ30m（アカ松の平均寿命は150年）。平成25年11月樹木医とツリークライミング技術者により樹上外科治療が施されました。



←樹齢400年超の月山松群（H25撮影）

年を経た樹皮や、天に伸びる姿は龍を思わせる

↓雑木を切り払い、景観づくり

（右：月山神社から胆沢扇状地を望む）



連絡先：生母生産森林組合特別顧問 大石喜清 TEL・FAX 0197-56-4442

## ■イベント情報

### 企業より

- ・トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場 -環境コミュニケーション報告会のご案内-

地域との情報共有、共通認識を目的に、金ケ崎町民、環境団体及び県内企業の皆様をお招きして報告会を開催し、環境に関する取り組みの紹介と意見交換を行いますので、奮ってご参加ください！！

日時：平成 26 年 7 月 21 日(月) 13：00～16：00（申込み締め切り 7 月 17 日）

平成 26 年 8 月 5 日(火) 13：00～16：00（申込み締め切り 7 月 31 日）

※両日ともほぼ同じ内容で開催します。ご都合の良い日にご参加ください。

場所：トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場（金ケ崎町西根森山 1）

申し込み：工務部工場管理室 三上・若狭（Tel：0197-41-1287）

### 環境活動団体より

- ・川のリーダー養成講座受講者募集のご案内

児童の水生物調査の指導者など、地域の環境保全を推進する人材育成を目指し、川のリーダー養成講座(第 1 回基礎編)を開催します。

日時：平成 26 年 7 月 22 日(火) 10：00～15：00(座学と実地研修)

場所：奥州市民活動支援センター会議室(奥州市水沢区字横町 2 番地 1 メイプル B1)

申し込み、詳細は奥州・いわて NPO ネット（0197-22-4200）まで。

### 振興局より

- ・「いわて地球環境にやさしい事業所」エコスタッフ養成セミナーのご案内（県南局開催分）

今年度も標記セミナーを開催します。昨年に引き続き、四つ星認定事業所の取組み事例紹介もありますので、奮ってご参加ください。

日時：平成 26 年 7 月 24 日(木) 9:10～16：30（申し込み締め切り 7 月 17 日）

詳細はコチラ→<http://www.pref.iwate.jp/kankyous/seisaku/jigyosho/014189.html>

- ・エコドライブ普及員養成教習会受講者募集のご案内

自動車から排出される温室効果ガスの削減に効果のある「エコドライブ」の県内での普及や定着に向けた活動を実践する人材を養成するため、事業者、一般の方を対象に標記教習会を開催します。

日時：平成 26 年 8 月 2 日（土）（申し込み締め切り 7 月 18 日）

場所：岩手県運転免許センター（岩手県盛岡市玉山区下田仲平 183）

詳細はコチラ→<http://www.pref.iwate.jp/kennan/hoken/kankyo/026755.html>

## ■環境これナニ情報

### ーコモチカワツボの怪（貝）ー



7月に入り、ホタル観察のベストシーズンがやってきました。しか～し!! いま、国内ではゲンジボタルの繁殖を脅かすコモチカ



（国立環境研究所侵入生物データベースより引用）

ワツボというニュージーランド原産の外来生物が各地で見つかり、問題となっています。

コモチカワツボはホタルの餌となるカワニナによく似た巻貝ですが、ゲンジボタルがこれを食べると、生育障害や発光障害を受け、生息数が減少すると言われています。

県南局では昨年度、地域の環境団体と協働し「森川海・環境保全活動ネットワーク形成事業」の一環として「コモチカワツボ」「ホタル」の生息一斉調査を行いました。

結果は図1のとおりですが、複数河川でコモチカワツボが確認されています。

コモチカワツボが厄介なのは、単性生殖が可能で繁殖力が強いところ。一つでも河川に持ち込まれると、爆発的に増殖します。汚染が確認されている水系で釣りや川遊びをした場合は、道具や生物を介して非汚染水系に持ち込まないように、注意が必要です。

コモチカワツボを除去するためには、長靴などはよく洗い、しっかり乾燥させます。また、10%オスバン（逆性石ケン）液での消毒が有効です。植物や生物に付着していますので、汚染水系の生物や植物をみだりに移動しないようにしましょう。

※結果をグーグルマイマップで公開しています。

<https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=z1-h7Zof-AFO.kUDOXUvG8qSk>

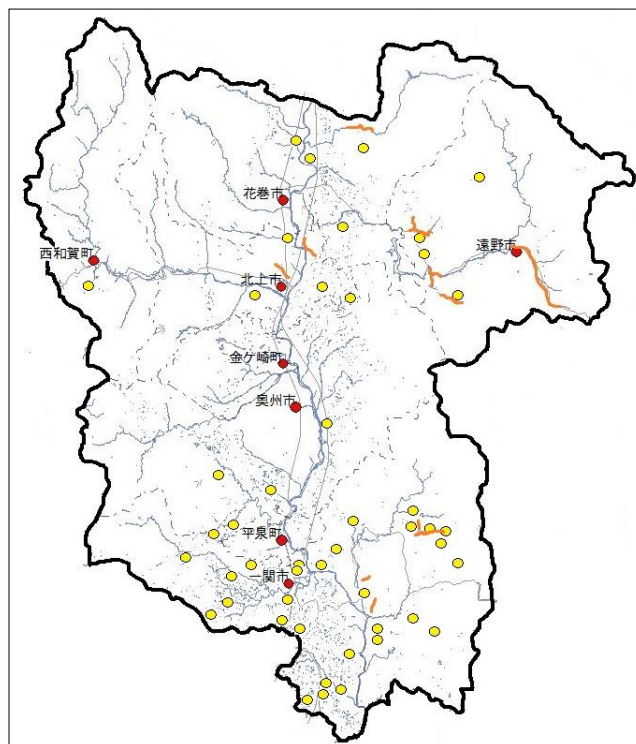


図1 コモチカワツボ・ホタル一斉調査結果

- ゲンジボタルの生息地点
- コモチカワツボが確認された水系

発行：県南広域振興局保健福祉環境部【担当：環境衛生課 伊藤】 奥州市水沢区大手町5-5

ご意見・ご要望・取り上げて欲しい情報などありましたら、下記連絡先まで！！

TEL 0197-22-2831（内線280） FAX 0197-22-4106 メールアドレス BD0003@pref.iwate.jp